

R 電力中央研究所

原子力技術研究所

ヒューマンファクター研究センター

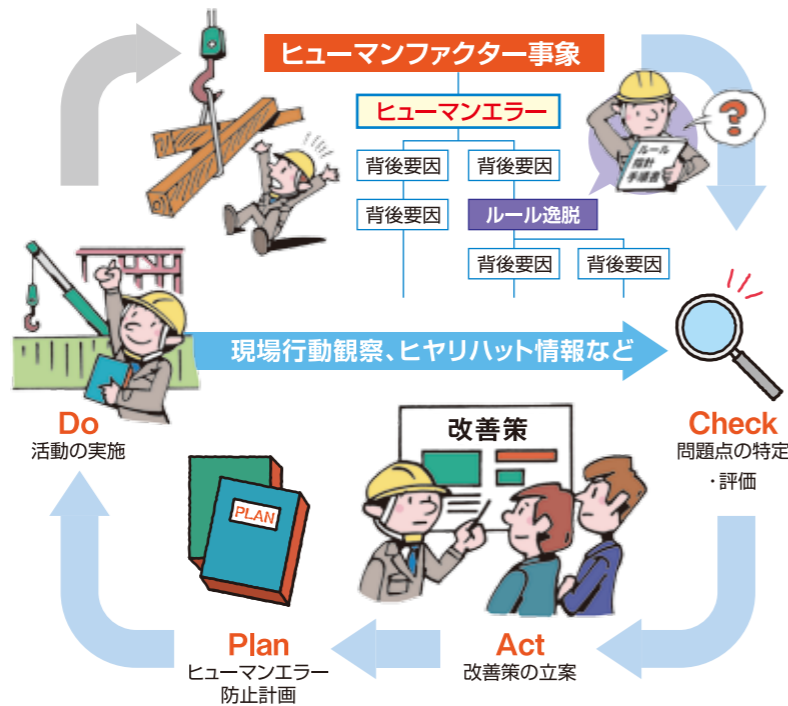


電力施設の安全・安定運転を 目指したヒューマンファクター研究

ヒューマンファクター研究センター(Human Factors Research Center : HFC)は、ヒューマンエラー低減による原子力発電の安全性、信頼性の向上を目指した研究を行うため、1987年(昭和62年)7月に発足しました。以来、ヒューマンファクターにかかわる課題解決に向けた幅広い研究活動を行い、電力施設を中心にヒューマンエラー(HE)の低減や組織の安全文化の醸成に寄与しています。

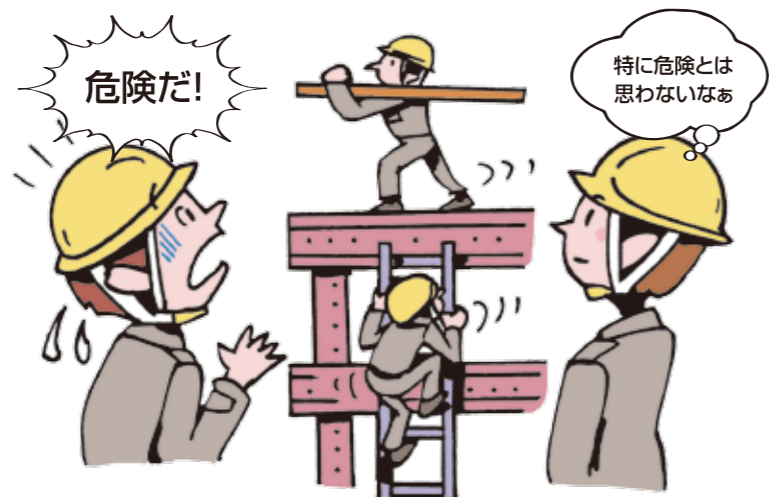
HEの防止と安全ルール導入方策

HFCでは、事象分析等を出発点として、ヒューマンファクターの問題を事業所自らが積極的に洗い出し、実効性のある対策をとるための仕組みを提案しています。現在は、この対策の一つである安全ルール導入方策を、ルール利用者の視点から検討しています。



危険感受性の向上方策

事故やエラーの未然防止には、職場に潜在する危険に気づける力、「危険感受性」が不可欠です。そこで、危険感受性を評価する尺度の作成や危険感受性を規定する要因の把握を行いながら、危険感受性を向上させる施策について検討しています。

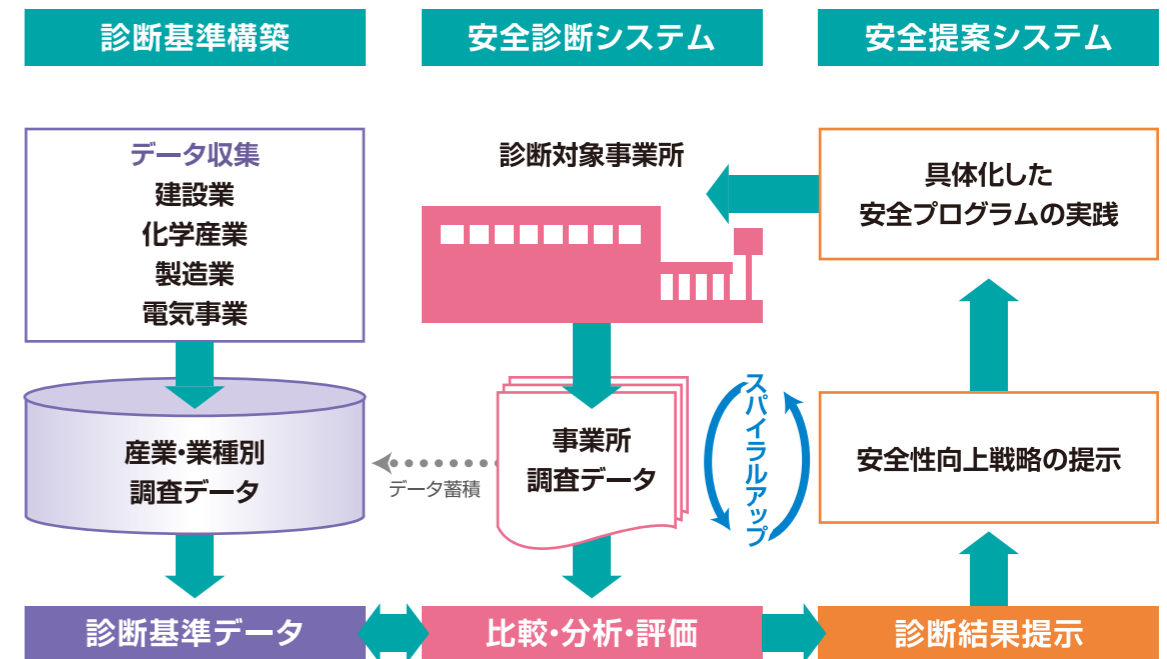


組織を活かす研究
人を活かす研究

組織の安全文化醸成

HFCでは、組織の風土や安全管理上の問題点をアンケート調査によって診断し、改善策を提案する手法(安全性向上システム)を開発しました。この手法を用いて、様々な産業の組織における安全文化醸成を支援しています。また、これまでの安全文化の知見を活用し、事故・災害などの不測の事態にうまく対応できる組織の特徴を解明しています。

安全性向上システムによる事業所の安全文化醸成支援



チームワークと緊急時対応

作業員が協働して円滑に業務を進めるには、チームワークが不可欠です。HFCでは、チームワークを定量的に評価する手法を開発し、チームワークに影響する要因を解明しています。これまでの知見を活かしつつ、緊急時対応で必要となる職種間や部署間でのチームワークの向上方策について検討しています。



HFCでは、ヒューマンファクターを理解して頂き、ヒューマンエラー防止に役立てつるため、ヒューマンファクターセミナーを開催するとともにヒューマンファクター教育のための教材を開発・提供しています。

■ HFC の安全啓発のための成果物・刊行物

- Caution Report No.1~No.118
- Caution Report 100号記念特集号
- ポケットCaution Report
- ヒューマンファクター事例集「信楽高原鉄道事故」
- ヒューマンファクター事例集「患者取り違い事故」
- Catch the Point (エラー防止対策集)
- 人身災害を防ぐ5つのポイント
- 「ヒューマンエラーや不安全行動の芽」を摘みとるために
- イラストで学ぶヒューマンファクター教訓集
- イラストで学ぶ災害防止教訓集
- 安全文化の実践
- 効果的休憩ノススメ
- ヒューマンファクターカルチャー醸成支援教材(DVDなど)



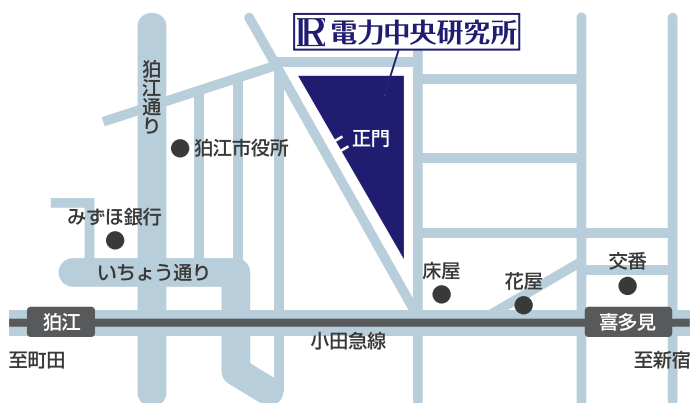
ヒューマンファクターセミナーの様子



■ 沿革

1987年	ヒューマンファクター研究センター設立
2004年	社会経済研究所に附置
2011年	原子力技術研究所に附置
2012年	一般財団法人に移行

■ アクセス



小田急「喜多見駅」下車、徒歩10分
 ※小田急線「新宿駅」から「喜多見駅」まで25分
 (「成城学園前駅」で各駅停車に乗り換え。快速急行は「成城学園駅前」は停車しません。)

■ お問い合わせ

2012.4

原子力技術研究所 ヒューマンファクター研究センター(HFC)

〒201-8511 東京都狛江市岩戸北2-11-1
 TEL 03-3480-2111(代表) FAX 03-3430-5779
<http://criepi.denken.or.jp/jp/hfc>